

28年12月分 問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年12月1日～ 28年12月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。12月分の回答企業数は36社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
 したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/12月	29/1月	29/2月
仕入動向	国産材	△ 8.6	△ 8.6	△ 12.5
	外材	△ 10.0	△ 8.6	△ 10.0
販売動向	国産材	△ 9.7	△ 15.5	△ 8.9
	外材	△ 10.3	△ 16.2	△ 9.1
在庫動向	国産材	△ 10.3	△ 8.6	△ 8.9
	外材	△ 1.5	△ 10.3	△ 9.1

・国産材及び外材の製材品の仕入れ、販売及び在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	28/12月	29/1月	29/2月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	12.0	8.3	0.0
ヒノキ正角	8.3	6.3	0.0
ヒノキ土台角	10.4	8.3	0.0
米ツガ正角(現地挽)	△ 6.5	△ 2.2	△ 2.3
米ツガ防腐土台角	△ 2.2	2.2	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.3	2.3	0.0
米マツ平角	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	8.3	4.2	2.2
ホワイトウッド集成管柱	14.6	10.4	0.0
レッドウッド集成平角	8.7	8.7	0.0
型枠合板(輸入)	36.4	27.3	11.9
針葉樹構造用合板	42.9	31.0	10.0
針葉樹構造用合板(厚物)	40.5	33.3	10.0

・スギ正角(グリーン)は3ヵ月連続して横ばい。スギ正角(KD)、ヒノキ正角及び土台角は12月、1月のやや強含みが、2月は横ばい。

・米ツガ正角(現地挽)はやや弱含み。防腐土台角及び割物(現地挽)はほぼ保含み。

・米マツ平角は3ヵ月連続して横ばい。

・北洋アカマツタルキ(現地挽)、WW集成管柱及びRW集成平角はやや強含み。

・型枠用合板(輸入)、針葉樹構造用合板は強含み。